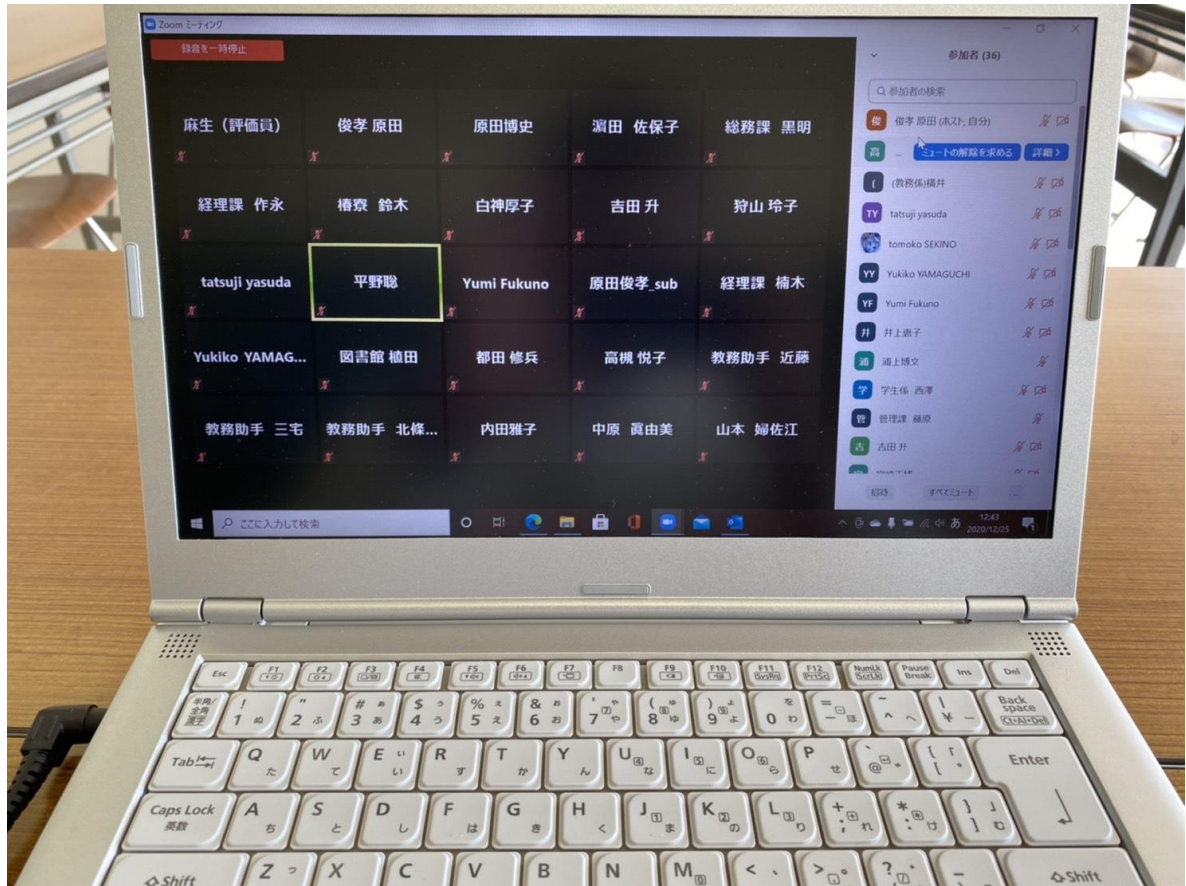


## 令和2年度FD・SDワークショップ報告書

日時： 令和2年12月25日（木）10：00～  
場所： Zoomによる遠隔ワークショップ  
評価員： 九州情報大学・山口短期大学 理事長・学長 麻生隆史 先生  
内容： Covid-19感染防止のためZOOMミーティングで開催した。



写真は、ホストPCのもです。

参加者は45名。

学外評価員は、九州情報大学・山口短期大学の麻生隆史理事長・学長先生  
にお願いした。

内容は、緊急事態宣言時における休校時の遠隔授業と学生の学習成果及び  
対面授業時の感染防止対策実施結果など反省と改善策などウィズコロナ  
への対応がメインであった。

時 間	内 容
10 : 00～11 : 00	岡山学院大学・岡山短期大学事務部 報告 1. SD 会議実施報告について 2. Covid 19 の感染防止対策実施結果について 3. オープンキャンパス実施結果について 4. 高等学校関係者からの意見聴取について 5. 各種アンケートについて 6. 防災を含む危機管理について 7. 事務部の Society5.0 時代への対応について (15 分の質疑応答含む)
11 : 10～12 : 10	岡山短期大学幼児教育学科 報告 1. Covid 19 による休校時の遠隔授業と学生の学習成果及び対面授業時の感染防止対策実施結果について 2. 授業アンケート (自由記述への対応、改善案等) について 3. 授業参観について 4. 外部評価 (地域・高大接続連携校) について 5. 汎用的学習成果のエビデンスについて 6. 学習成果に関するアンケート 7. Society5.0 保育者養成コースと公務員養成コースの実施報告 (15 分の質疑応答含む)
12 : 10～13 : 00	昼休憩
13 : 00～14 : 00	岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科 報告 1. Covid 19 による休校時の遠隔授業と学生の学習成果及び対面授業時の感染防止対策実施結果について 2. Society5.0 時代に対応する教育課程編成・実施の方針及び卒業認定・学位授与の方針の策定について 3. 授業アンケートの活用 (自由記述への対応、改善案等) について 4. 栄養長寿教室等活動の取り組みと見直しについて 5. 就職先学習成果に関するアンケートについて 6. 外部評価の実施 (地域の評価者による) (15 分の質疑応答含む)
14 : 00～14 : 15	評価員の講評 (九州情報大学・山口短期大学 理事長・学長 麻生隆史 様)
14 : 15～14 : 30	総括 (学長 原田博史)

## 評価書

岡山学院大学・岡山短期大学事務部 FD・SD ワークショップ評価書
評価員所属 九州情報大学・山口短期大学 氏 名 麻生隆史
令和2年12月25日のFD・SDワークショップは岡山学院大学岡山短期大学SD(スタッフ・ディベロプメント)委員会規程に従って十分な内容であったか一般的なSDとして十分な内容であったか率直な評価をお願いします。
<p>総評</p> <p>本年度は、大学においても新型コロナ感染症対策を講じる必要があり、事務部においても個々案件に対応すべく例年とは違う学務運営であったであろう。</p> <p>本年度は学園主事・事務部長が議長となり、定期的にSD会議が実施されており、オープンキャンパス、オンラインガイダンス、学校案内パンフレット及びFD・SDワークショップについて審議されている。課題として準備不足を掲げ今後の改善計画と行動計画を示している。</p> <p>また、緊急事態であるコロナ禍においても、感染症防止対策、オープンキャンパス、高等学校関係者からの意見聴取、各種アンケート、防災における危機管理、事務部のSociety5.0への対応を詳細にわたって検証されている。これらはSD活動として十分な内容である。</p> <p>特に、コロナ禍の中での取り組みにおいて平時とは違う課題も認識される中、適切に対応されており、その結果教育活動がほぼ支障なく実施できている。</p> <p>緊急時においても本ワークショップを通じてその内容を全学的に共有し、さらに事務部で示された課題は教育に携わる非常勤講師を含む全教員がそれを共有・確認することにより、全学的な危機管理への迅速な対応や教育の質向上に繋がるであろう。</p>

岡山短期大学幼児教育学科 FD・SD ワークショップ評価書

評価員所属 九州情報大学・山口短期大学  
氏 名 麻生隆史

令和2年12月25日のFD・SDワークショップは岡山学院大学岡山短期大学FD(ファカルティ・ディベロプメント)委員会規程に従って十分な内容であったかまた三つの方針・学習成果・点検・評価の方法などの観点から率直な評価をお願いします。

総評

本年度は以下の項目に関し報告された。

○COVID-19による遠隔授業と学生の学習成果及び対面授業時の感染防止対策実施結果  
今回アンケートにより確認された緊急事態の遠隔授業や対面授業での感染防止対策について改善すべき点が課題として検証されている。学習成果を獲得させるにあたり、より効果のある手法を模索して個別に改善計画や行動計画の検討が必要である。

○授業アンケート

授業の最終回等で実施されている授業アンケートにより、深く各授業の課題を検証している。特にシヤトルカードと自由記述の在り方については改善の余地を残している。さらなる改善計画・行動計画を検討されることを期待する。

○授業参観

「Society5.0 に対応すべく、地域社会の指導者たる人材育成と養成」に着目し、ルーブリック評価を用いて深く検証されている。評価項目も教材やコミュニケーションの達成目標を設定しPDCA サイクルを実施している。今後もこれを恒常的に実施し、本学が目指す教育目標を実現するための教員の共通理解を深めることが重要である。

○外部評価(地域・高大連携)

「現場に即応できる保育者養成」の実現のためには外部評価は重要である。その実現のために連携校・一般の高校・地域社会を取り入れた評価になることを期待する。

○汎用的学習成果のエビデンス

全教員が汎用的学習成果の重要性を共通理解として持っている。そのエビデンスを課題として検証されている。汎用的学習成果は、建学の精神の具現化や教育目標の達成に深く関係しているので、さらなる検討を積み重ねることが望まれる。

○学習成果に関するアンケート

就職先へのアンケートは、汎用的学習成果・専門的学習成果両方において一部低い結果が出ているが、就職先が何を求めているのかを深く検証し、必要に応じて教育課程に反映する事も考えられる。

○Society5.0 保育者養成コースと公務員養成コースの実施報告

二つのコースは時代のニーズにあっており、各コースの特色を検証している。今後、各コースにおける学生・教員・地域社会とのマッチングやニーズを検討されたい。

岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科 FD・SD ワークショップ評価書

評価員所属 九州情報大学・山口短期大学  
氏 名 麻生隆史

令和2年12月25日のFD・SDワークショップは岡山学院大学岡山短期大学FD(ファカルティ・ディベロプメント)委員会規程に従って十分な内容であったかまた三つの方針・学習成果・点検・評価の方法などの観点から率直な評価をお願いします。

総評

本年度は以下の項目に関し報告された。

○COVID-19による遠隔授業と学生の学習成果及び対面授業時の感染防止対策実施結果  
遠隔授業に関するアンケートは学科教員に対して、COVID-19による遠隔授業における学習成果の獲得への影響を調査したものであるが、いくつかの課題はあったものの対面授業時にその補完をすることにより概ね学習成果の獲得を担保している。ただし新入生への対応は改善の余地を残している。感染防止対策に関してはできうる対策を実施しており評価できるが、外部の方々への対応はマニュアル等を作成することが必要である。

○Society5.0時代に対応する教育課程編成・実施の方針及び卒業認定・学位授与の方針の策定

内閣府が示すSociety5.0時代を栄養教育の観点を交えCP・DPを具体的に検証している。まだ検討の段階であるが、これらの方針を早急に具体化されることを期待する。

○授業アンケートの活用(自由記述への対応、改善案等)

授業アンケートを毎年実施することにより授業改善に繋がってきているが、自由記述のありかたや全教員が活用できる方策等を今後より深く検討する余地を残している。

○栄養長寿教室等活動の取り組みと見直し

本年度はコロナ禍の影響もあり限定的であったが、2年生の栄養マネジメントをルーブリックにより評価している。学生と教員が同じルーブリックを用いることにより現実的な評価となっているが、各項目の達成目標をさらに検討することにより良い評価となる。

○就職先学習成果アンケート

専門的学習成果と汎用的学習成果について次年度授業への反映を目的として就職先のアンケートである。アンケート項目や実施時期の課題はあるものの詳細な検証により学習成果の達成度がより明確化している。これが各授業への改善に繋がっていくことを期待する。

○外部評価(地域の評価者)

「現場に即応する管理栄養士の養成」の方針のもと、それを具現化するために地域の評価を取り入れ学習成果の獲得に資するものとなっている。今後、高大連携校と共に多くの地域の関係者からの評価が教育の質保証に繋がるであろう。